

琉球哲樂さびら。



紀々 (きき)

哲学家。那覇市出身。1998年に早稲田大学第一文学部哲学科東洋哲学専修を卒業。「自ら考え、自ら動く力を磨く社員研修を」との依頼を受け、「哲樂のチカラを、笑顔のチカラに」をテーマに、さまざまな企業現場でサポートを行っている。特に「若手リーダー、女性スタッフがイキイキ元気に働ける職場づくり」を哲樂する研修は、好評。現在は、沖縄の表現で「Let's 哲樂」を意味する「哲樂さびら。」を合言葉に、沖縄発で職場に哲樂習慣・風土を広めるべく活動を展開中。

職場を元気にする哲樂レシピ その二十

心にゆとりがないから生まれるハラスメント

沖縄では梅雨明けがそろそろ…という時期に、世間の注目を集めたのが、都議会で男性議員から女性議員に浴びせられた発言。私は、ある地元企業から依頼された、男女共同参画型の職場作りに関する研修の準備を始めていたところだったので、また一つ、題材が増えたと思いました。

「早く結婚しなさい！」

20代半ばから研修講師をしてきた私は自分自身、この乱暴な「アドバ

イス」はもちろん、さまざまなハラスメント（嫌がらせ）を体験してきました。特に多かったのがいわゆるセクハラで、例えばリーダー研修では、女性参加者に出会えるのが10人に一人くらい。受講者全員が男性で、女性は講師の私一人という状況もめずらしくありません。そういう中で、しばしば、セクハラ的な言動が…。

どうしたら、セクハラはなくなるのか？これは研修のテーマにもしてきましたし、実際に職場のリーダーからの相談を受け、被害者・加害者双方の話を聞きに行き、解決策を一緒にになって考えたこともありました。悪意があつたケース、アルコールの勢いで発生したケースなど、セクハラが起こった理由はさまざま。

私が20代に経験した忘れられない一例は、講演終了後に参加した懇親会で、席が見当たらず困っていたときのこと。ある男性の社長から「こつちへどうぞ」と手招きされたので、行ってみると…そこにあつたのは、

その男性の膝だったのです！また、講演会で「若いねえちゃんか」とあからさまにガッカリされたことも。喜怒哀楽の中で、「怒」の出番が多いから、30歳になりたい」と思つていました。

そうしたら、「ねえちゃん」という呼び名からきっと解放されるから。

そのため、あのころは髪を短く切り、意識的に黒や紺のスーツを着用。さらには小柄なので、少しでも大人の女性として見られるよう、ヒールは、女性参加者に出会えるのが10人に一人くらい。受講者全員が男性で、女性は講師の私一人という状況もめずらしくありません。そういう中で、

精一杯の武装をして頑張っていた時代でした。

そんな時代を経て、自分らしさを心から楽しめるようになつた今の私は、男女共同参画というテーマで、さまざまな職場から指名をいたしました。それまでは

「楽しいなあ」「幸せ！」と思える気持ち。そうすれば、心だけではなく、言葉にも、表情にも、きっとゆとりが生まれるはずなのです。

ゆとりを持てれば、笑顔度はもちろん、気づき度も、さらには想像力や発想力も高まるはず。ひいては、職場のコミュニケーションが活発になり、チーム力も高まり、ミスやクレームも減ることを、私は現場の皆さんに教えてもらいました。

相手を思いやれるだけの心のゆとりを、皆さんは、どれほど持っていますか？特に接客業の場合、心のゆ

要なのは幸せ感」ということでした。

セクハラ、ハラスメントのほとんどが、当事者の心に「ゆとり」が足りないがゆえに起つたものである

ことがわかつたのです。ゆとりがないため、頭でわかついても、やさしくなれない。相手の立場で考

えられない。そして、つい、トゲトゲのボルを投げてしまうのです。

そういう人たちの場合、いくらハ

ラスメント防止の研修をしても、改善は難しい。逆に、心にゆとりがあ

る人は、研修を受けなくても大丈

夫！これが、私の哲樂です。

大切なのは 今を楽しむ気持ち

そして、心にゆとりを生むのは、今を「楽しいなあ」「幸せ！」と思える気持ち。そうすれば、心だけではなく、言葉にも、表情にも、きっと

ゆとりが生まれるはずなのです。

ゆとりを持てれば、笑顔度はもちろん、気づき度も、さらには想像力や発想力も高まるはず。ひいては、

職場のコミュニケーションが活発になり、チーム力も高まり、ミスやク

レームも減ることを、私は現場の皆さんに教えてもらいました。

相手を思いやれるだけの心のゆとりを、皆さんは、どれほど持っていますか？特に接客業の場合、心のゆ

あなたも今のは
あわせ度は
どうくらいいですか？